

紀南中核的交流施設整備事業の事業者公募に係る第一次審査結果について

平成18年9月13日

紀南中核的交流施設整備事業支援補助金事業者選定委員会

紀南中核的交流施設整備事業支援補助金事業者選定委員会（委員長：望月達史）は、紀南中核的交流施設整備事業支援補助金の事業者選定に係る第一次審査として、応募事業者から提出された第一次審査提案資料の審査（3回）及びヒアリング（1回）を実施し、このたび、第一次審査の結果を次のとおり決定しました。

1. 応募事業者数

本事業の事業者公募に係る第一次審査については、11 応募者（グループ）から応募をいただきました。

2. 第一次審査通過者

公募要項に示す選定基準に沿って、紀南中核的交流施設整備事業支援補助金事業者選定委員会において慎重に審査を行った結果、優秀な応募者であると評価された上位3者（第一次審査通過者とし、第二次審査の対象者とします。）は、次の応募者（代表応募者）です。

（株）エムアンドエムサービス

（株）スローライフ熊野

KUMANOプロジェクト（代表応募者（有）二軒茶屋餅角屋本店）

3. 第一次審査結果

全11 応募者の順位及び得点は以下のとおりです。

順位	応募者名・応募グループ名	得点
1	（株）エムアンドエムサービス	87.8点
2	（株）スローライフ熊野	82.2点
3	KUMANOプロジェクト	74.8点
4	グループ①	72.4点
5	グループ②	61.0点
6	グループ③	57.6点
6	グループ④	57.6点
8	グループ⑤	48.6点
9	グループ⑥	44.4点
10	グループ⑦	37.2点
11	グループ⑧	36.4点

4. 講評

各応募者の提案内容は、本事業の基本的な考え方や事業スキーム等を踏まえ、独自のノウハウやアイデアに基づく創意工夫が感じられるものでした。

その中で、上位3応募者については、

- 「事業の企画性」に関して、コンセプトに独創性及び実現可能性が見られること、また、地域の特性を踏まえて地域の活性化に資する取組みが具体的に示されていること、さらに、集客ターゲットや集客確保の方策など集客の戦略が明確に示されていること
- 「地域連携、地域への波及効果」に関して、地域資源の活用や地域との連携の方策が具体的に示されていること、また、地元雇用や地域産材の活用等が積極的であること
- 「事業の安定性・確実性・健全性」に関して、集客見込みの想定が妥当であり実現可能性が高いこと、また、経営収支がそれぞれの事業内容に照らして妥当な水準であり事業の安定性及び継続性を期待できること、さらに、運営体制が明確に示されており事業遂行の確実性を期待できること

といった点が高い評価となりました。

なお、上位3応募者の提案内容については、第二次審査に向けてさらに具体化され、実現性等の向上が図られることを期待するものです。

5. 選定委員会における審査等の経過

平成18年8月 8日 資格審査及び提案審査

平成18年8月25日 事業者ヒアリング

平成18年8月26日 提案審査

平成18年9月 3日 提案審査

※ 選定委員会における審査等は、応募者固有のノウハウ等に係る情報が含まれることから、応募者の権利、競争上の地位その他正当な権利を害することがないように、非公開で行いました。

6. 今後の予定

第一次審査を通過した上位3応募者に対して、平成18年12月15日までに第二次審査資料の提出を求めます。

その後、選定委員会において、平成19年2月9日までに第二次審査を行い、最優秀提案者、優秀提案者及び準優秀提案者を選定する予定です。

そして、県は、選定委員会の審査結果を踏まえ事業予定者1者を決定する予定です。